

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6 年 8月 末日

事業所名 あすなる

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1		利用人数が多い時は、活動ごとにスペースを分けたりして過ごしている。
	②	職員の配置数は適切である	3		1	適切な時と足りないと感じる時がある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2		大きな段差はなく、大きな支障はない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			月1回の店舗会議で情報を共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			アンケート調査を参考に業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			毎年ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている業所の会報やホームページ等で公開している		4		外部評価していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		4		コロナ以降研修の機会が少なくなっているが、会議の場や、必要に応じて行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			行なっている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			関係機関と連携し行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			店舗会議の際、意見を出し合い、共有して計画を立てている。活動内容をみんなで考えながら行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			子供たちが楽しめるように話し合いながら工夫して考えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			長期休暇などは楽しく過ごせるような活動を考えている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			状況により、必要な子供には個別活動を行い、組み合わせしている。個別学習支援は行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			毎日申し送りを行い、プログラムの内容などを確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			毎日支援の振り返り、気づいた事を話している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			HUGで記載して保護者に伝えている。HUGを利用して記録し改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			半年に1回のモニタリングを行っている。毎日の申し送りで共有している。

	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ わせて支援を行っている	4		
関係機関 や保護者との 連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4		児発管が行っている。
	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	4		時間割はコピーをして共有している。時間割や 年間行事予定表で確認しながら行っている。送 迎時にトラブルがあれば学校に確認を行って いる。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えて いる	3	1	児発管が連絡体制を整えている。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4		送迎時に情報を共有している。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	4		提供している。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	4		連携している。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 害のない子どもと活動する機会がある		4	
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参 加している		4	行ける時は参加している。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っている	4		HUGや送迎の時にその都度伝えている。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	4		
保護者への説明 責任等	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等 について丁寧な説明を行っている	4		契約の時に丁寧に説明を行っている。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する 相談に適切に応じ、必要な助言と支援 を行っている	4		児発管が行っている。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		4	コロナ過になり現在は行っていないが今後行っ ていきたいと考えていきたいと思っています。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応している	4		適切に対応し、苦情解決に必要な事実を集め、 整理してスタッフ内で改善案を話し合い、対応 している。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護 者に対して発信している	4		行事予定、連絡体制は月1回発信している。急 な変更はその都度お知らせしている。
	㉞	個人情報に十分注意している	4		注意している。

	⑩	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		配慮している。
	⑪	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		
非常時等の対応	⑫	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		スタッフ、保護者共に周知している。
	⑬	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		消防署と連絡をとり、訓練を行っている。
	⑭	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		各店舗で取り組んでいる。
	⑮	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		記載している。
	⑯	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		契約時に確認をしている。指示のある子供の対応は行っている。
	⑰	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		ファイルを作成し、いつでも見れるようにしている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6年 8月 末日

事業所名 あすなろステップ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			・活動室が広くスペースが保たれている・のびのびと活動できるスペースとなっている・学習するスペースと遊びや運動プログラムのスペースが完全に分かれているのが良い点
	②	職員の配置数は適切である	4	1		・適切である利用人数が10名になった時は1人確保・子供たちの様子が把握できる人数である・適切な日がほとんどだと思います。もう少し人員に余裕があると良い
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		玄関以外は全てバリアフリーになっている。玄関の段差は高くないので必要な時に対応できるよう工夫する。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	5			日々の申し送りと月に1度店舗会議を開き常に共有している・PDCAの4点をうまく繰り返しスタッフ一同で業務改善につなげていく
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			厳しい評価も受け止め改善に向けている・業務改善につなげていく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			・毎年行っている・公開をしている・HPでこうかいしている
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている業所の会報やホームページ等で公開している		4	1	外部評価は行っていない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			・行っているがまだ少ないと感じている・学べる時間は必要だと思っている・定期的に研修を行っている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			半年に2度面談、聞き取りを行っている。送迎時でも情報共有している・行っている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			相談室など関係機関と連携し行っている・行っている
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			・プログラムの担当を決め内容を共有し、役割を分け行っている・活動内容をみんなで相談しながら行っている・会議や日ごろからも一緒に考え努力している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		・子供たちが楽しみながら課題をクリア出来るよう考案している・面白そうな内容を見つけたらやってみる。子ども達の意見も取り入れ工夫している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			長期休みは全店舗でイベントを行うなど工夫している・行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			個別と集団の活動を改め分けて提供している。状況に応じて対応している・個別活動は少ないが組み合わせで作成している。個別学習支援、臨床美術等計画的に行っている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			・必ず申し送りにて前日の共有と当日の打ち合わせをしている・毎日その日のスタッフ全員で申し送りをしている・打ち合わせ確認両方できている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		支援記録を書きながら振り返りを行っている・その日気になったことなどをスタッフ間で共有している・支援終了後、共有している
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			HUGにて細かく記載し保護者に伝えている・HUGを使っている・HUGを利用し記録している

関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			半年に1度モニタリングを行い保護者、職員に共有している・行っている。毎日申し送りでも共有している	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5			曜日ごとに内容や目的を変えている・行っています	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最	5			主に児発官が参加している・普段から関わっているスタッフと共にしている。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5			・時間割はコピーし共有。学校迎え時に必要なことは先生と共有している・時間割や年間行事予定表で確認しながら行っている・適切に行えていると思う	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2		医療的ケアが必要な児童は現時点でいない・今現在、対象となる利用者さんがいない	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1		必要なときには共有している・なるべく多くの情報を共有できるよう努めている	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			提供している	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			常に連携している	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		1	4	現時点ではない・今現在なかなか機会がない。外出時、公園で会い話すことがある	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3	2		出来る限り参加している	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			支援記録でその日の様子を細かく伝えたり送迎時でも伝えている・日ごろから共有している	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4		面談などでアドバイスは行っているが、ペアレント・トレーニングは行っていない	
	保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			紙面でしっかり行っている・丁寧に説明を行っている
		㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			日々話しやすい状況を考えて接し、必要な時には相談に応じている・電話やHUGなどで行っている。申し送りで共有している
		㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	1	以前は茶話会を行っていたが、コロナ渦から行っていない。これから少しずつ機会を増やしていく
		㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			・苦情対応については重要事項説明書に細かく記載している・問題があった時にはすぐに責任者に伝え、迅速な対応をしている・適切に対応している
		㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			HUGにて発信している行事予定表も発行している・はつらつだよりや別紙おたよりを配布している

	⑳	個人情報に十分注意している	5			・全員に周知し気を付けている・十分注意している・十分に注意している。シュレッターを使い十分配慮している
	㉑	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			口頭HUGでコメント、ラインなどいくつかのツールを使って配慮している
	㉒	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている			5	コロナ渦から行ってないが今後行えるようにしていく
非常時等の対応	㉓	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			職員はもちろんのこと保護者にも周知している。
	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			避難訓練は年2回行っている・定期的に行っている
	㉕	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			委員会を作り研修している・全体で研修している。研修機会は確保されている
	㉖	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			会議で話し合い共有。保護者に説明し個別支援計画にも記載している・必要な場合のみ記載している
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			保護者へ必ず確認している
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			共有し必要な時は書面に残している・ファイルにいつでも誰でも見ることが出来るようにしている

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6 年 8 月 末日

事業所名 あすなるグランデ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	②	職員の配置数は適切である	4			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等	4			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、	3	1		時間等の配慮や調整をしながら適切に実施していき、より良い支援につなげていきたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用し	4			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			担当者を中心にみんなで意見を出し合ってより良いものとなるように努めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			子ども達が楽しめるような内容をその都度考えて提供している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			特に長期休暇については、楽しく過ごせるような活動を増やすようにしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス	4			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担	4			毎日申し送りを行い、プログラムの内容や前日の活動の共有をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを	4			共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげてい	4			毎日HUGの支援記録に記載している。

関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4			毎日の申し送り等で実施できている。
	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最	3	1		
	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発	4			変更等もあるが、連絡をうけてすぐに送迎に向かっている。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整	3	1		
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等と	3	1		
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合は、これまでの支援内容等の情報	4			
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言	3	1		
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	2	
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	2		
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共	4			送迎時やHUGでその都度伝えている。
保護者への説明責任等	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支	2	1	1	
	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			見学や契約の際に伝えている。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行	3	1		送迎時以外にも、責任者が電話で対応している。より良い助言と支援ができるよう、専門性を高めていきたい。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連		2	2	イベントのお手伝いをお願いするなど、何らかの形で保護者も関わられる機会を作っていきたい。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に	4			適切に対応できている。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保	4			
	㉞					

	③⑤	個人情報に十分注意している	4			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている		2	2	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1		
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上	4			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6 年 8 月 末 日

事業所名 あすなるリズム

		チェック項目	はい	どちらともいえない	改善目標・工夫している点など	
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3	活動室以外狭いと感じる時がある。	
	②	職員の配置数は適切である	2	3	1	適切な時と足りないと感じる時がある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1	2	玄関の段差が危ないと感じる時がある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			店舗会議で話し合い意見交換している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握している	6			結果を集計し改善に繋げる努力はしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			Hpで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2		社内研修で行っていたが今は店舗会議で行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、対応している	6			行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用して活動プログラムの立案をチームで行っている	6			使用し行っている。
	⑪	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			毎月会議で話し合いをし行っている。
	⑫	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			児童が飽きないよう毎月細かく話し合いをし工夫している。
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービスを提供している	6			個別活動はあまりないが組み合わせて作成している。
	⑭	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担に合意している	6			必ず打ち合わせをし役割を決めている。
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有している	6			気が付いた点を共有している。
	⑯	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			HUGを活用している。

関係機関や保護者との連携	⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断して	6			定期的に行っている。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組 み合わせて支援を行っている	6			現場スタッフに支援内容を伝達している。
	⑰	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参加している	6			児発管が行っている。
	⑱	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認 等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生 時	6			送迎時、学校との情報交換をし適切に共通理解 を図っている。
	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる 場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整 えている	3	3		親御さんを通し体制を整えている。
	㉑	就学前に利用していた保育園や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている	3	3		送迎時などで情報を共有している。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研	4	2		幼稚園とは情報共有をしているが今まで該当事 者がいない。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障 害のない子どもと活動する機会がある	2	4		以前はレッスンで保育園に行っていたが現在は ない。
	㉔	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参 加している	1	4	1	できる限り参加したいと思っている。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共通 理	6			送迎時に伝えたり、HUGを活用している。
保護者への説明責任等	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保 護者に対してペアレント・トレーニング 等の支	3	3		現在は行っていないが今後行っていきたいと考 えている。
	㉖	運営規程、支援の内容、利用者負担等に ついて丁寧な説明を行っている	6			児発管が契約時に説明を行っている。
	㉗	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ てい	6			児発管が行っている。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等 を開催する等により、保護者同士の連携 を	1	5		現在は行っていないが今後行っていきたいと考 えている。
	㉙	子どもや保護者からの苦情について、対 応の 体制を整備するとともに、子どもや保護 者に 関	6			苦情があった場合迅速に対応している。
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護 者に対して発信している	6			HUGやHpでブログ配信やはつらつだよりを発 行している。

	⑳	個人情報に十分注意している	6			十分に注意している。
	㉑	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			視覚支援を行っている。
	㉒	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	1	
非常時等の対応	㉓	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者	6			マニュアルを作成し周知している。
	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1		毎年行っている。
	㉕	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2		各店舗で取り組んでいる。
	㉖	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上	6			記載している。
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			情報を共有し対応している。
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			ファイルを作成し共有している。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。